

新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案の発生について  
（医療法人宝山会 奈良小南病院 第2報（最終報））

医療法人宝山会 奈良小南病院の1つの病棟において、新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）が発生し、濃厚接触者等に対して健康観察を行ってきましたが、当該期間が終了し新たな感染者の発生は確認されていません。よって当該院内感染（クラスター）事案は終結しました。

1 発生場所

医療法人宝山会 奈良小南病院（所在地 奈良市八条五丁目 437-8）

2 感染者の概要

(1) 経緯

1月4日、当該入院病棟に入院する患者2人の感染が判明しました。当該入院病棟に関係する入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者6人（初発感染者を含む）の感染を確認しました。

(2) 感染者（計6人）

ア 入院患者6人（市内6人）

【内訳】性別：男性3人、女性3人

年代：50代1人、80代4人、90代1人

※第1報（1月16日）以降、新たな感染者は判明していません。

3 病院の対応

- ・ 1月4日～
  - ・ 感染予防策の強化、徹底及び関係場所の消毒の実施。
  - ・ 当該入院病棟の入院患者及び職員に対し検査を実施。
- ・ 1月24日
  - ・ 当該入院病棟における健康観察終了。

4 市の対応

逐次聞き取り調査を行い、感染状況及びその対応策を協議しました。

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、特段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。